

# 日本共産党狛江市議団ニュース

2015年5月号

発行：日本共産党狛江市議団

連絡先：市議会控室3430-1177

日本共産党狛江市議団の活動を紹介します。

## 戦争法案ストップ！

# 暮らし第一、市民が主人公 平和を守る市政実現へ

# 公約実現に全力で頑張ります

# 日本共産党市議団

4月の市議選（定数22）で日本共産党は、昨年の衆院比例の6480票を上回る6513票を獲得、鈴木えつお、田中とも子、西村あつ子、宮坂良子、岡村しんの現職5人全員が当選しました。5人は早速、開票日翌日から、それぞれ市内3駅で選挙結果の報告と公約実現への決意を訴える宣伝を行い、夕方には狛江駅北口で5人そろって宣伝しました（写真）。何人もの人が駆け寄り「5人全員でよかった。がんばって」「安倍内閣の戦争立法をやめさせてほしい」などの声が寄せられました。

そして切実な要望である認可保育所やシルバー相談室の増設、第三特養ホームの早期建設、生存権を保障する税行政への転換、北部地域への児童館建設、住宅の耐震化や防災無線の改善、中央公民館・図書館の充実など公約実現に全力をあげてがんばります。

5月19日に臨時議会が開かれ議会の構成が決まりました。日本共産党市議団は、選挙で示された各会派の議席数に応じた民主的な役割配分を求め、田中とも子議員が副議長に、宮坂良子議員が社会常任委員長に、西村あつ子議員が総務文教副委員長に、鈴木えつお議員が議会運営副委員長に、岡村しん議員は社会常任委員に選出されました。各議員の所属委員会・活動地域等は下記の通りです。



選挙結果を報告する（左から）鈴木えつお、西村あつ子、岡村しん、宮坂良子、田中とも子の各議員（4月27日、狛江駅）

日本共産党市議団は選挙中に訴えてきた、安倍内閣の戦争法案を草の根の運動でストップさせることや、暮らし第一、市民が主人公の市政を取りもどすこと、

## 戦争法案撤回させよう！ 日本共産党が署名行動

狛江駅

5月2日と9日、13日と15日、日本共産党は戦争法案をストップしようと狛江駅で国会請願署名行動を行いました（写真）。「安倍さん怖い。戦争法案を阻止してほしい」「憲法九条は世界へのプレゼント。戦争法案は世界へのプレゼント。守ってほしい」など多くの方が声を寄せてくれました。戦争法案は、日本が海外で武力行使をして「殺し殺される」国になる危険な法案です。草の根の世論を広げて戦争法案を撤回させましょう。



岡村しん議員  
6751-2757

社会常任委員  
都市計画審議会委員



宮坂良子議員  
3480-1895

社会常任委員長  
国保連協委員



西村あつ子議員  
3480-2780

総務文教副委員長  
多摩川衛生組合議員



田中とも子議員  
042-427-1183

副議長  
建設環境常任委員



鈴木えつお議員  
3488-8839

総務文教常任委員  
議会運営副委員長

< 活動地域 >

岩戸北全域  
岩戸南1～3丁目  
同4丁目の水道道路  
北側、東野川1丁目  
猪方1丁目  
東和泉2丁目

< 活動地域 >

西野川全域  
和泉本町3～4丁目

< 活動地域 >

中和泉全域  
和泉本町1～2丁目

< 活動地域 >

西和泉全域  
元和泉全域  
東和泉1丁目  
同3、4丁目  
東野川2～4丁目

< 活動地域 >

猪方2～4丁目  
駒井町1～2丁目の  
水道道路南側  
駒井町3丁目  
岩戸南4丁目の水道  
道路南側



# 市民福祉が後退—高橋市長の予算

- 敬老金引下げ⇒100歳以上はゼロに
- 入浴券切り下げ⇒10人がもらえなくなる
- 介護保険料 16.7%、年9千円値上げ
- 多子世帯保育料、最大16万7千円値上げ



3月26日の本会議で、高橋市長の一般会計予算が自民、公明、民主、生活ネなどの賛成多数で可決されました。日本共産党市議団は、予算組替え動議を提出し奮闘しました。

## 敬老金や入浴券、保育料軽減、これまでどおり実施を

### 日本共産党市議団が予算組み替え提案

予算全体の0・07%  
で実現できる

いま消費税増税や年金切り下げなど市民生活は厳しさを増して

おり、市民福祉の充実が急務となっています。

ところが高橋市長の予算は、高齢者のご長寿をお祝いする敬老金を大幅に切り下げ、77歳は7千円が5千円に、88歳は1万円が8千円に、99歳は2万円が1万円相当の記念品に、100歳以上は2万円がゼロになってしまします。削減予算は263万円です。削減予算は263万円です。削減予算は263万円です。

0・01%です。やる気になればもとに戻せます。長年社会に尽くされてきた高齢者へのお祝いの金の切り下げは許せません。

自宅にお風呂がない高齢者や障がい者に月4枚支給されていた入浴券も、所得制限が導入され10人がもらえなくなってしまう。

入浴券は健康を維持していく上で大切なものです。入浴券を交付している17市で所得制限を導入しているのは2市だけです。予算の削減額は25万円、もとに戻すべきです。

介護保険料は月額4500円が5250円へと16・7%、年



9千円も値上げされます。

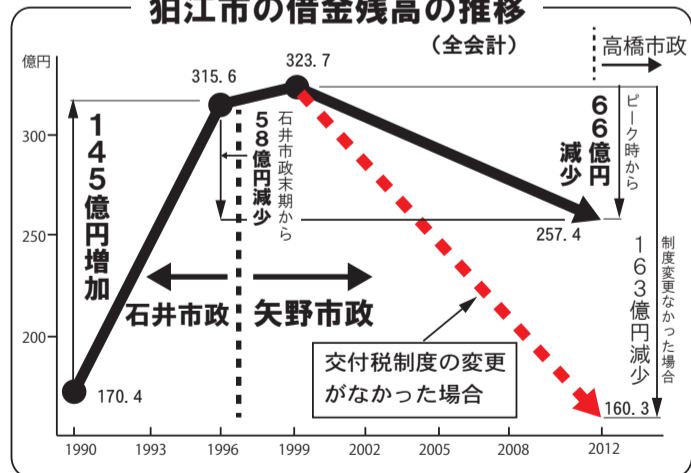
国民年金の支給額は年々減っておりこの値上げは大きな負担です。本来国が国庫補助を増やして保険料軽減をはかるべきですが、市としても低所得者向けの保険料軽減を拡充すべきです。

お子さんが3人以上の多子

世帯の保育料も軽減措置が廃止され、最大年16万7千円もの大

幅値上げとなります。多摩地域では調布、清瀬、国立など7市

狛江市の借金残高の推移 (全会計)



自民、公明、民主、生活ネなどが反対し否決

### 日本共産党の予算組み替え提案

- ①市民福祉の後退をストップし市民福祉充実へ
  - 敬老金をこれまでどおり支給 (263万円)
  - 入浴券をこれまでどおり交付 (25万円)
  - 介護保険料の低所得者軽減を拡充 (1200万円)
  - 保育園多子世帯の保育料軽減を継続 (60万円)
  - 介護保険利用料の低所得者4割軽減 (780万円)
  - 母子家庭に月5千円の家賃補助実施 (400万円)
  - 生活保護世帯のエアコン設置に助成 (320万円)
- ②災害死者ゼロへ地震災害対策促進
  - 防災ラジオ 1000 台の貸し出しを実施 (900万円)
  - 家具転倒防止器具の取り付け等助成 (270万円)
- ③産業振興へ住宅リフォーム助成を実施 (500万円)
- ④和泉保育園の民間委託関係費削除 (△1112万円)
- ⑤議員の期末手当を減額 (△1852万円)
- ⑥財源は財政調整基金約 1700 万円を活用

## 中学校給食、7月から再開 給食センターが5月中旬に完成



建設中の給食センター (西野川)

旧七小跡地に建設中の給食センターが5月中旬に完成し、中学校給食が7月から再開されます。給食は、おかずや汁物などを食缶で運び温かく美味しい給食になるように配慮されています。調理は(株)東洋食品が行い、献立や食材の発注などは2人の栄養士が行います。安心安全な給食へ衛生管理も徹底されます。

が、軽減措置を継続しています。継続に必要な予算は60万円。日本共産党は、敬老金や入浴券、保育料の軽減をこれまでどおり実施することなど求める予算の組み替えを提案しました(表参照)。提案には議員の期末手当の引き下げも含まれており、予算全体の0・07%の組替えて実現できます。しかも狛江市の財政は、矢野前市政16年間の借金返済の努力で借金残高がピーク時から66億円も減少しています(グラフ参照)。

この提案は自民、公明、民主、生活ネなどの反対で否決されましたが、ひきつづき実現にがんばります。

## 無料法律生活相談

- 毎月第1火曜日…午後1時～4時
- 市役所3階 日本共産党市議団控室

\*市議・弁護士が相談をお受けします。  
\*お申し込みは3430-1177 (団控室) か各市議へ

